

東南アジア教育大臣機構 (SEAMEO*)について

*Southeast Asian Ministry of Education Organization

組織概要

- ・教育、科学技術、文化を通じ、ASEAN諸国間の協力を促進することを目的とし、1965年に発足。事務局はタイ（バンコク）に置かれている。
- ・政府間組織であり、世界でも稀有な、教育大臣会で構成される国際機関。（理事会は教育大臣が構成）
- ・加盟国：ASEAN諸国及び東ティモールの11か国。加盟各国からの拠出金により運営される。

SEAMEO専門機関（センター）

- ・東南アジアの教育の能力強化をミッションとし、加盟国ごとに異なる目的のセンターを設置。教育研究分野、医学教育分野、農学教育分野等、10国に26センターが設置されており、教員研修や教材開発を実施している。
- ・センターの活動にはすべての加盟国から参加することが可能。加盟国がリソースを共有することで、多様な分野における人材育成を効率的に進めることが目指されている。

国際連携

- ・諸外国が「準加盟国」や「共同機関」として協力。
- ・準加盟国は、オーストラリア、フランス、カナダ、ドイツ、オランダ、ニュージーランド、スペイン、イギリスの8か国。
- ・共同機関には日本からは筑波大学、英国からブリティッシュ・カウンシル、中国からは中国教育国際交流協会等の6機関が参加。

SEAMEO専門機関 （センター）

大臣機構
ASEAN諸国及び
東ティモールの
11か国



Southeast Asian
Ministers of Education
Organization

RIHED（高等教育開発：タイ）

QITEP in Science（理科教員養成：インドネシア）

QITEP in Mathematics（数学教員養成：インドネシア）

RETRAC（地域訓練：ベトナム）

RECSAM（理数教育：マレーシア）

SEARCA（農学教育研究：フィリピン）

※全部で26のセンターが設置されている。

我が国との関係

- ・政治、経済両面における我が国の重要なパートナーである東南アジア地域において、我が国のプレゼンス強化等のため、SEAMEOと連携し、同地域の発展に資する協力を展開。（日本はオブザーバー参加。）
- ・SEAMEOとの連携強化のため、以下の事業を実施。
 - ①SEAMEO-Japan ESD Award：SEAMEO加盟国内の小・中・高等学校のESDに関する優秀な事例を表彰。
 - ②各センターで実施する教員研修への講師派遣